

やんばる国立公園 奥宜名真線道路（車道）

路線距離：10.7km

有効幅員：6.0m

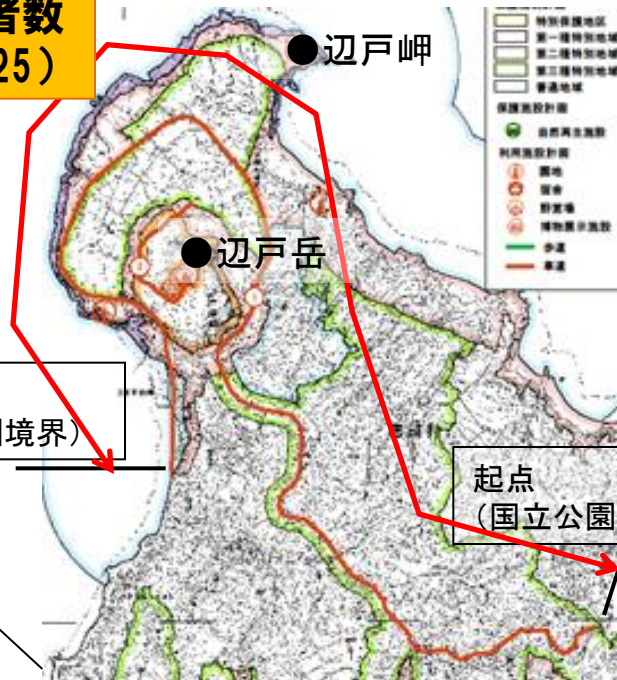
執行者：沖縄総合事務局、環境省

決定

特別保護地区、第2種特別地域、第3種特別地域、普通地域（国有地）

沖縄県

辺戸岬利用者数
約44万人（H25）



- 国道58号線として、沖縄島東海岸から沖縄島北端を周回し、西側へと至る幹線道路。
- 道路からは、海域景観や辺戸岳など、国立公園の景観資源を眺望することができる。
- 辺戸から奥にかけての車道付近は脊梁山地と繋がる照葉樹林でヤンバルクイナなどの希少な野生動物のコリドーとして重要

既存施設の把握（道路）

- ヤンバルクイナをはじめとする希少野生生物の交通事故防止等の対策が執られている。（沖縄総合事務局）

希少野生生物の交通事故防止等のための対策例



ヤンバルクイナ飛び出し防止ネット



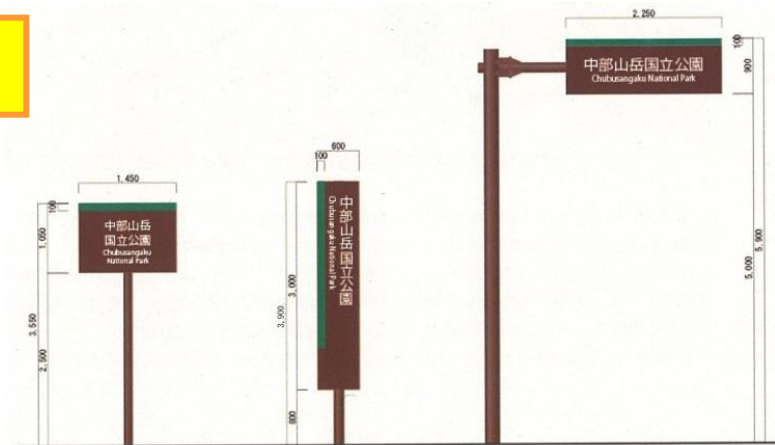
ゼブラゾーン(減速帯)



注意喚起標識

入口標識の整備

- 国立公園の境界付近に標識を設置することにより、国立公園への誘導や公園区域の明示・周知、地名等の情報提供を行う。（環境省）



入口標識の例(自然公園等施設技術指針より)

やんばる国立公園 東海岸線道路（車道）

路線距離：9.3km

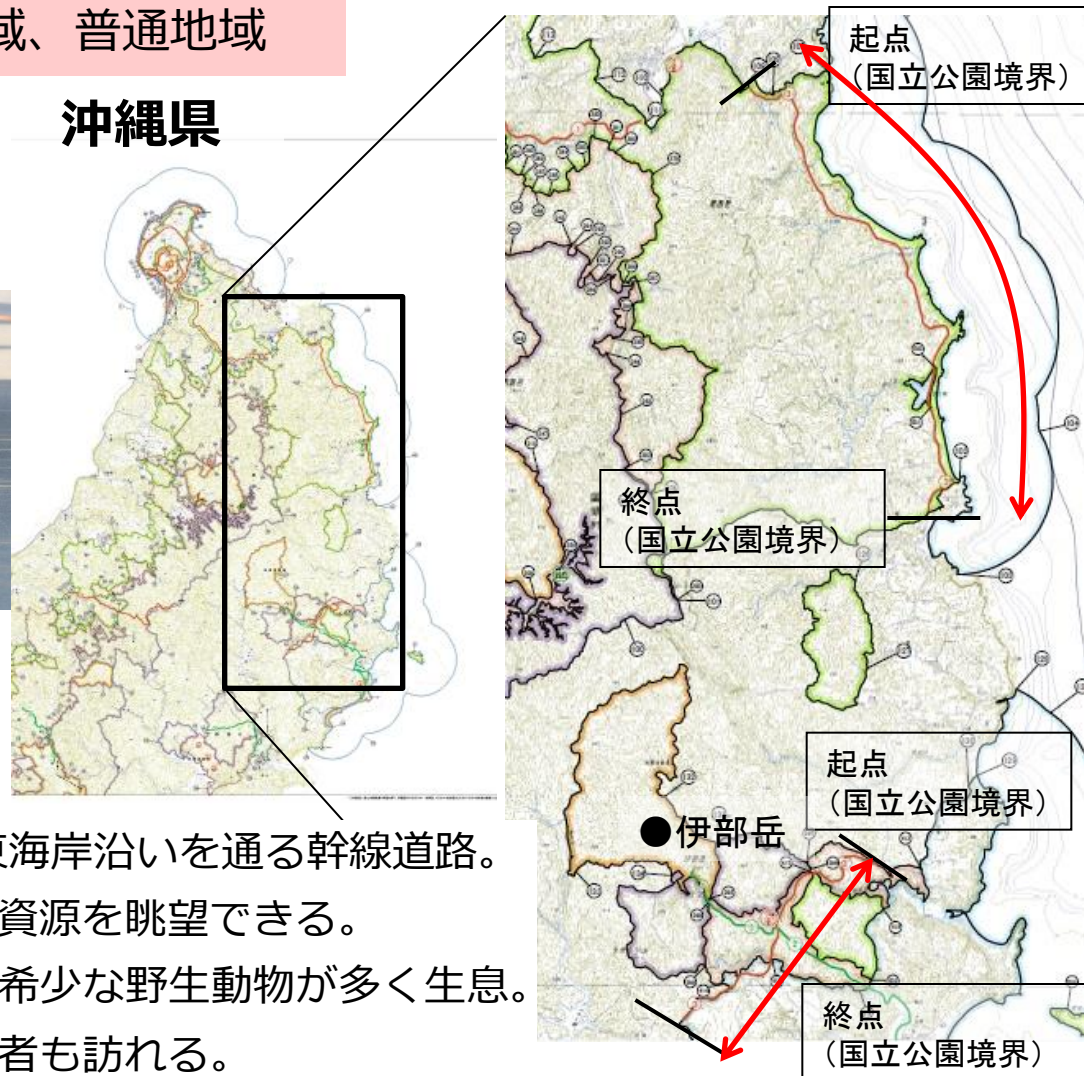
有効幅員：6.0m

執行者：沖縄県、環境省

決定

第2種特別地域、第3種特別地域、普通地域

沖縄県



- 県道70号線として、沖縄島北部から東海岸沿いを通る幹線道路。
- 道路から自然海岸等の国立公園の景観資源を眺望できる。
- 付近は照葉樹林でヤンバルクイナ等の希少な野生動物が多く生息。
- 野生のヤンバルクイナの観察目的利用者も訪れる。

既存施設の把握（道路）

- ヤンバルクイナをはじめとする希少野生生物の交通事故防止等の対策が執られている。（沖縄県）

希少野生生物の交通事故防止等のための対策例



ゼブラゾーン(減速帯)



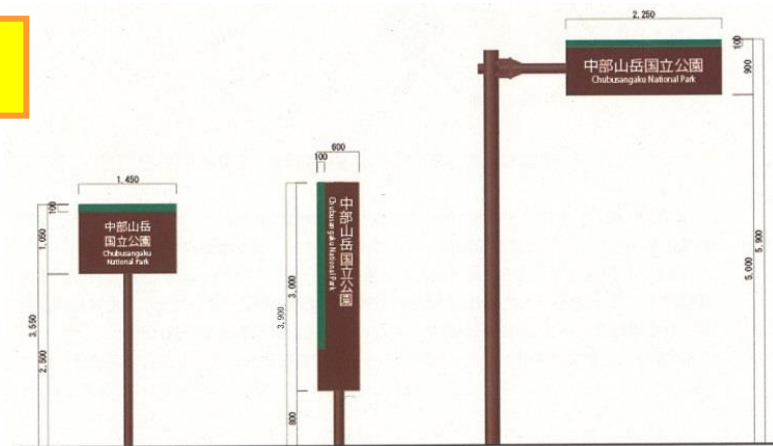
注意喚起標識



小動物用スロープ付き側溝

入口標識の整備

- 国立公園の境界付近に標識を設置することにより、国立公園への誘導や公園区域の明示・周知、地名等の情報提供を行う。（環境省）



入口標識の例(自然公園等施設技術指針より)

やんばる国立公園 山原横断線道路（車道）

路線距離：4.5km

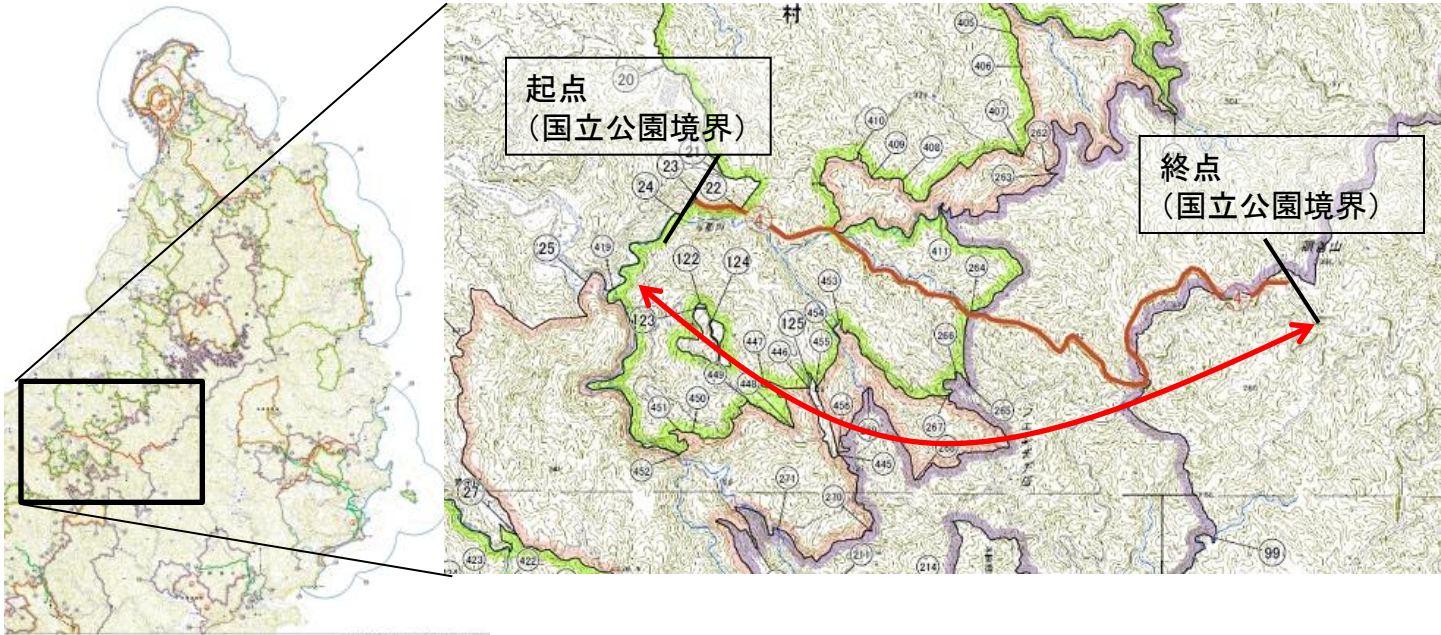
有効幅員：6.0m

執行者：沖縄県、環境省

決定

第1種特別地域、第3種特別地域

沖縄県



- 県道2号線として、沖縄島北部を東西に横断する幹線道路であり、日常的に島民や観光客が多く利用。
- 脊梁山地を横断し、道路両側において一帯に照葉樹林が広がる。
- ヤンバルクイナやケナガネズミ等の希少な野生動物が多く生息。

既存施設の把握（道路）

- ヤンバルクイナをはじめとする希少野生生物の交通事故防止等の対策が執られている。（沖縄県）

希少野生生物の交通事故防止等のための対策例



ゼブラゾーン（減速帯）



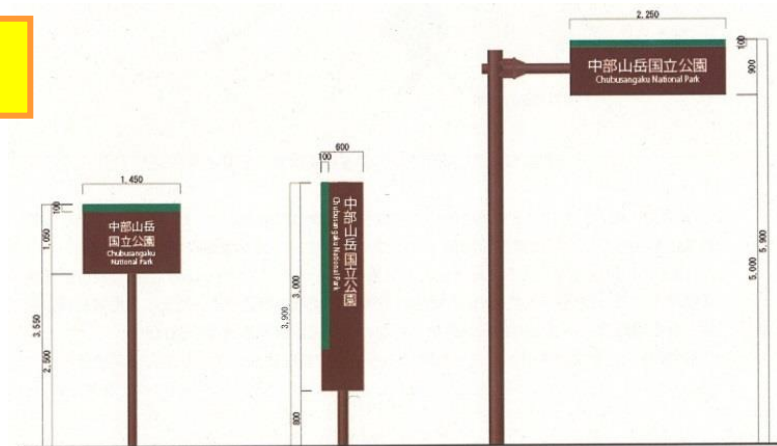
注意喚起標識(ケナガネズミ重点区間)



注意喚起標識

入口標識の整備

- 国立公園の境界付近に標識を設置することにより、国立公園への誘導や公園区域の明示・周知、地名等の情報提供を行う。（環境省）



入口標識の例(自然公園等施設技術指針より)

やんばる国立公園 辺戸園地

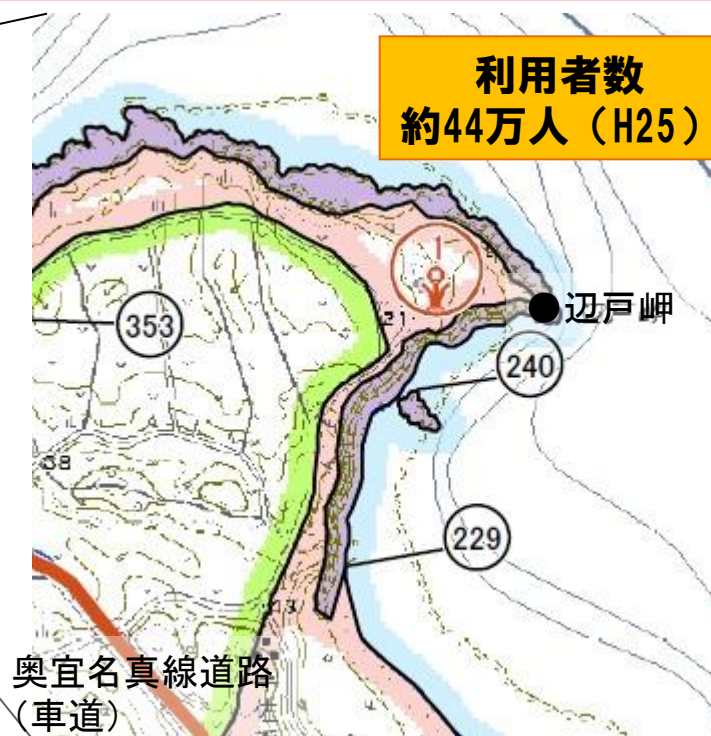
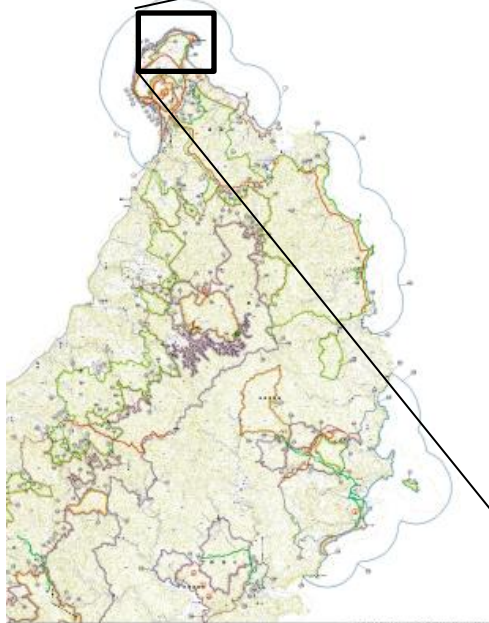
決定

区域面積：2.2ha

執行者：沖縄県、環境省、民間

第1種特別地域、第2種特別地域（公有地（沖縄県）、民有地）

沖縄県



石灰岩海食崖



風衝地植生

- 沖縄島最北端に位置し、沖縄島北部地域において最も利用者が多い場所の一つ（約44万人/年）
- 石灰岩特有のカルスト地形を示し、高い海食崖地形に風衝地植生が発達している。
- 海食崖を主とした海岸景観、鹿児島県最南端の与論島、辺戸岳方面の風景を一望できる。
- 上記風景観賞の他、散策、休憩、陸からのザトウクジラ観察が行われている。

既存施設の把握（駐車場、トイレ、園路）

- 沖縄海岸国定公園事業として、公園を安全かつ快適に利用するために必要な駐車場、トイレ、園路等が整備されている。（沖縄県）



駐車場



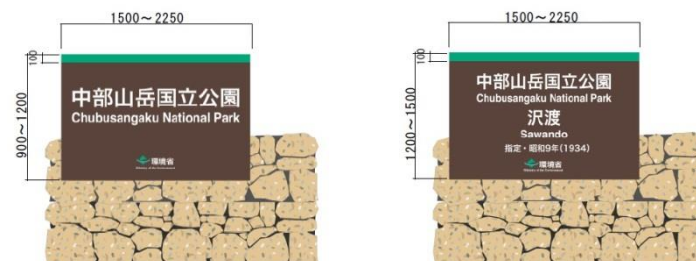
トイレ



園路

入口標識の整備

- モニュメント型標識を設置することにより国立公園の入口らしさを演出するとともに、区域の明示・周知、地名等の情報提供を行う。（環境省）



入口標識の例(自然公園等施設技術指針より)

やんばる国立公園 安波園地

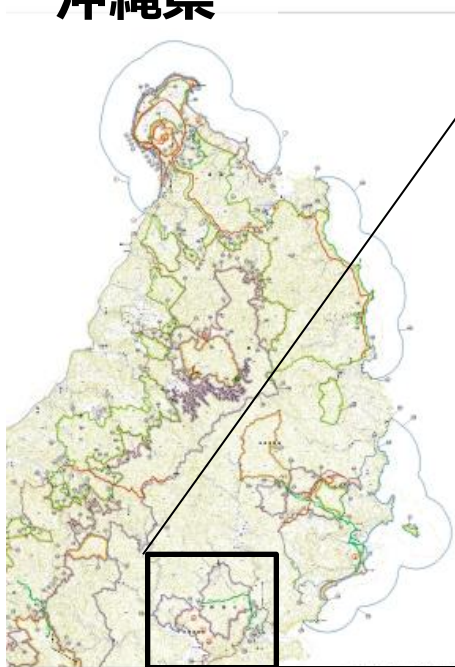
決定

区域面積：4.5ha

執行者：国頭村、環境省

第1種特別地域、第2種特別地域（公有地（国頭村））

沖縄県



- 沖縄島北部脊梁山地東側の安波ダム近隣に位置し、ヤンバルクイナ等希少な動植物が生息・生育している。
- 国頭村により宿泊施設、広場、園路等が整備されている（利用者数約2.1万人/年）。
- ダム湖におけるカヌー利用、ガイド同伴の生き物観察、ガイドウォーク等のエコツアーが行われている。

既存施設の把握（広場、園路、案内所）

- 「国頭村環境教育センターやんばる学びの森」として、周囲の照葉樹林や近隣のダム湖等を安全かつ快適に利用するために必要な広場、園路、案内所等が整備されている。（国頭村）



広場



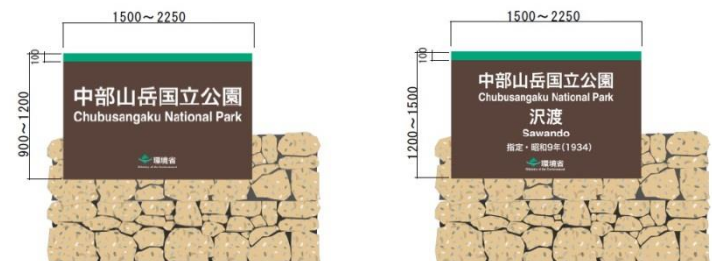
園路



カヌー利用案内所

入口標識の整備

- モニュメント型標識を設置することにより国立公園の入口らしさを演出するとともに、区域の明示・周知、地名等の情報提供を行う。（環境省）



入口標識の例(自然公園等施設技術指針より)